

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

|                                                                        |           |                 |                                               |        |                       |                       |
|------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------|-----------------------------------------------|--------|-----------------------|-----------------------|
| 学 科                                                                    | 医療心理科     |                 | 科 目 区 分                                       | 専門基礎分野 | 授業の方法                 | 講義                    |
| 科 目 名                                                                  | 心理的アセスメント |                 | 必修/選択の別                                       | 必修     | 授業時数(単位数)             | 30 (2) 時間(単位)         |
| 対 象 学 年                                                                | 1年        |                 | 学期及び曜時限                                       | 後期     | 教室名                   |                       |
| 担 当 教 員                                                                | 津田大希      | 実務経験と<br>その関連資格 | 臨床心理士・公認心理師として、関西福祉科学大学EAP研究所で心理支援に従事。        |        |                       |                       |
| 《授業科目における学習内容》                                                         |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| 心理的アセスメントの目的や倫理、種類や方法について学ぶ。                                           |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| 《成績評価の方法と基準》                                                           |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| 定期試験の点数70％<br>出席点20点<br>提出物・受講態度10％                                    |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》                                                      |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| パワーポイントの配布資料、PC、プロジェクター                                                |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| 《授業外における学習方法》                                                          |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| 講義までに前回の資料を必ず復習すること。                                                   |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| 《履修に当たっての留意点》                                                          |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| アセスメントがしっかりとできていると、効果的な支援につなげやすいです。ぜひアセスメントの方法を学び、支援に活かせるように学んでいきましょう。 |           |                 |                                               |        |                       |                       |
| 授業の方法                                                                  |           | 内 容             |                                               |        | 使用教材                  | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |
| 第1回                                                                    | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 心理アセスメントの目的と倫理について理解できる。                      |        | PC<br>プロジェクター<br>配布資料 | 配布資料を確認する。            |
|                                                                        |           | 各コマにおける授業予定     | 心理アセスメントの目的と倫理を学ぶ。                            |        |                       |                       |
| 第2回                                                                    | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 多角的なアセスメントについて理解できる①                          |        | PC<br>プロジェクター<br>配布資料 | 講義前に第1回の講義内容を復習すること。  |
|                                                                        |           | 各コマにおける授業予定     | 生物・心理・社会モデル、包括的アセスメント、ICFを学ぶ。                 |        |                       |                       |
| 第3回                                                                    | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 多角的なアセスメントについて理解できる②                          |        | PC<br>プロジェクター<br>配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。     |
|                                                                        |           | 各コマにおける授業予定     | 生物・心理・社会モデル、包括的アセスメント、ICFを活用する。               |        |                       |                       |
| 第4回                                                                    | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 面接法の概要について理解できる。                              |        | PC<br>プロジェクター<br>配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。     |
|                                                                        |           | 各コマにおける授業予定     | 面接法の概要や展開について学ぶ。                              |        |                       |                       |
| 第5回                                                                    | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | インテーク面接について理解できる。                             |        | PC<br>プロジェクター<br>配布資料 | これまでの講義内容を復習すること。     |
|                                                                        |           | 各コマにおける授業予定     | アセスメントを目的に行われるインテーク面接において必要とされる応答技法や情報について学ぶ。 |        |                       |                       |

| 授業の方法 |      | 内 容         |                                                | 使用教材                          | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|------------------------------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 観察法について理解できる。                                  | PC<br>プロジェクター<br>配布資料         | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 観察法の概要について学ぶ。                                  |                               |                       |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心理検査法の概要について理解できる。                             | PC<br>プロジェクター<br>配布資料         | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 心理検査法の概要について学ぶ。                                |                               |                       |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 心理検査の「信頼性」「妥当性」について理解できる。                      | PC<br>プロジェクター<br>配布資料         | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 心理検査の「信頼性」「妥当性」について学ぶ。                         |                               |                       |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各検査の概要と実施・解釈について理解できる①                         | PC<br>プロジェクター<br>配布資料<br>検査用具 | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 質問紙検査の概要や実施・解釈について学ぶ。                          |                               |                       |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各検査の概要と実施・解釈について理解できる②                         | PC<br>プロジェクター<br>配布資料<br>検査用具 | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 投影法検査の概要や実施・解釈について学ぶ。                          |                               |                       |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各検査の概要と実施・解釈について理解できる③                         | PC<br>プロジェクター<br>配布資料<br>検査用具 | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 知能検査の概要や実施・解釈について学ぶ。                           |                               |                       |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各検査の概要と実施・解釈について理解できる④                         | PC<br>プロジェクター<br>配布資料<br>検査用具 | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 内田クレペリン精神検査の概要と実施・解釈について学ぶ。                    |                               |                       |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ケースフォーミュレーションについて理解できる。                        | PC<br>プロジェクター<br>配布資料         | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | クライアントに生じている悪循環を定式化する「ケースフォーミュレーション」の知識や技術を学ぶ。 |                               |                       |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 適切な記録と報告の仕方について理解できる。                          | PC<br>プロジェクター<br>配布資料         | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 報告書の作成、記録の保管、フィードバックについて学ぶ。                    |                               |                       |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 科目のまとめと振り返りを通じ、知識をアウトプットできる。                   | PC<br>プロジェクター<br>配布資料         | これまでの講義内容を復習すること。     |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | まとめと最終確認                                       |                               |                       |